

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	クレヨン フジノ		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 20日		～ 2025年 11月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2026年 1月 6日		～ 2026年 1月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	その子の特性やニーズに合わせて職員間で話し合い、必要があれば柔軟に取り組むことができます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドラインを踏まえながら、保護者様と面談や、発達に合わせた支援を支援計画に基づき考えています。</li> <li>・必要があれば保護者様や幼稚園、保育園、こども園ともすぐに電話などで情報共有を行い、充実した支援が行えるようにしています。</li> <li>・送迎時に保護者様から日々の様子を聞き取り、支援に生かせるように丁寧な聞き取りを心がけています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の様子を全職員で共有できる様に、活動記録以外に終礼時の様子を記録に残しています。</li> <li>・定期的に職員間で話し合う機会を設けています。</li> </ul>
2	公園が近いことや、庭があることで体を動かす機会を多く取り入れることができます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天候によって室内と外を使い分けています。</li> <li>・公園遊びでは、外ならではの広さを使い、追いかけっこして体を動かしています。</li> </ul>	遊ぶ公園や活動が固定しないよう職員間で行き先を調べたり、話し合いを重ね、安全に活動できるようにしています。
3	室内でも季節を感じるができるよう、事業所内の壁面や季節の行事に因んだゲームに力を入れ、生活空間の工夫をしています。	視覚でも楽しめる空間作りや、廃材を使って季節に合わせた手作りのゲームで遊び、児童が楽しめる環境を整えています。	職員間でアイデアを話し合い、より季節感のある空間を目指していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	まだ試行錯誤中なところもあり、子ども達がどんな行動をとるか把握しきれていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童によっては安全に戸外活動できる場所が限られている。</li> <li>・児童の行動に応じた安全性が取りにくい場所があります。(庭が道路に面している為)</li> </ul>	安全を確保する為に、活動空間を柵などで区切る等検討していきます。
2			
3			